

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ  
A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した  
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

黄色塗り部分は決算報告時に記載（配付申請時は記載不要）

様式1

## 令和6年度 校長経営戦略支援予算【学校配付】配付申請書

(校園コード  )

※校園コードを必ず入力してください。

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

1 配付額  円 → 決算額

2 配付上限額

学校配当	350,000	+	学級数	8学級	+	特別支援学級及び通級による指導の開設校(1開設1学級とみなす)	6学級	×	学級配当	29,000
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。										
配付上限額	= <input type="text" value="756,000"/>									

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

◇年度末の校内調査における「将来の夢や目標をもっていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を78%以上にする。  
◇学校課題や情報等の情報共有でシステムを有効活用していると回答する教職員の割合を75%以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

達成

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

●地域や校区小学校等と連携し、地域を知り、地域から学び、様々な個別の人権課題についての理解と認識の深化充実を図る。  
●欠席連絡アプリやAI探点システム、グループウェア機能などの活用により、学校運営の効率化を継続する。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

◇生命の大切さや人権について学んでいると強く回答する生徒の割合を78%以上にする。  
◇ICTの活用により、学校運営の効率化を感じる教員の割合を70%以上にする。

指標に対する達成状況(取組完了時)

達成

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

家庭訪問や学習支援、保護者との関係づくりなど、地に足をつけた地道な取組は継続して実施する。また、「学校安心ルール」に基づいた問題行動の対応について連携し、毅然と対応し、生徒の安全・安心な学びの場の構築に努める。  
ICT機器の活用を洗練し、不登校生徒への学習保障を、生徒には情報モラル情報リテラシーの向上を図る必要がある。教職員はグループウェア機能などの活用をさらに進める必要がある。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【基本的な方向番号、名称】 【基本的な方向2-3 人権を尊重する教育の推進】 ●地域や校区小学校等と連携し、地域を知り、地域から学び、様々な個別の人権課題についての理解と認識の深化充実を図る。	達成
①予算内訳 07-1 講師謝礼金(看護師) @22,000×3日間=66,000円 交通費 13,000円 宿泊費 16,000円 小計95,000円 10-1 コピー用紙 @500×2= 1,000円 小計 1,000円 12-0 公演委託料(和太鼓) 50,000円 小計50,000円 合計146,000円	
②決算内訳	
(2)取組内容【基本的な方向番号、名称】 【基本的な方向7-1 働き方改革の推進】 ●欠席連絡アプリやAI採点システム、グループウェア機能などの活用により、学校運営の効率化を継続する。	達成
①予算内訳 10-1 ロングHDMIケーブル @8,000× 3= 24,000円 小計 遮光ロールスクリーン @8,000×22=176,000円 小計200,000円 17-2 大型モニタ @70,000×3台=210,000円 ホワイトボード(上下スライド) 200,000円 小計410,000円 合計610,000円	
②決算内訳	